



# Fukagawa Rotary Club

R I 第 2510 地区第 1 グループ 深川ロータリークラブ

---

よいことの  
ために



手を取りあおう

## 次年度会長セミナー報告

担当：木村喜芳会長エレクト

# 3月24日

(火)

N03090 第 28 回例会

### 佐々木会員増強委員長卓話



例 会 案 内	例会案内「3月～5月」
3月24日(火)	次年度会長セミナー報告
3月31日(火)	準法廷休会
4月 7日(火)	青少年奉仕委員会担当例会
4月14日(火)	市長卓話
4月21日(火)	観桜会 (移動例会・夜間)
4月28日(火)	法廷休会
5月 5日(火)	法廷休会
5月12日(火)	地区研修協議会報告
5月17日(火)	都市連合会 (羽幌)

### 出席報告 3月3日例会

総 会 員 数	28名 (出席免除者1名中0名出席)
欠 席 者 数	10名 石川, 井上, 山脇, 内山, 平瀬, 宮岸, 宮澤, 児島, 樋口, 武田各会員
出 席 率	62.96%
前回メーキャップ	1名 宮澤幹事
前回修正出席率	62.96%

### 前例会幹事報告 清水副幹事

- R I 2510 地区より昨年度地区要覧の送付
- R Y L A セミナーの案内
- 羽幌 R C ・ 赤平 R C より会報の送付
- 三陸沖地震支援に関する N H K 全国放送の案内

スマイル B O X
284062

■大西祥太 P 会長 早退

### 会 長 接 撓 伊東由紀夫会長

本日は会員増強委員会担当例会です。宜しくお願いたします。また先週の理事会で新たに入会希望者が1名いらっしゃるとい事です。

### 玉井ガバナー ガバナー月信紹介



ようやく春の訪れを感じる季節となりました。  
会長・幹事の皆さまには、ますますご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。本年度も残すところ4カ月を切り、いよいよ次年度に向けた準備が本格化する時期となりました。

会長エレクト研修セミナー (PETS) や地区研修・協議会を通じ、次年度への確かなバトンパスが進められようとしています。各クラブにおかれましても、この残された時間を大切に、ゴールに向かって最善を尽くし、素晴らしい年度を締めくくっていただきたく存じます。さて、3月は、ロータリーの特別月間「水と衛生月間」です。私たち日本に住んでいると、豊かな水と高い衛生環境を当たり前のように感じがちですが、世界には今もなお、「命を救うきれいな水」を心から求める地域が数多く存在します。現在、世界では約 44 億人、すなわち世界人口の半数以上が安全な飲料水を家庭で利用できない状況にあります。これは、従来の推計 (約 22 億人) を大きく上回る数字であり、近年の調査手法の精度向上によって明らかになったものです。汚染水に起因する下痢性疾患で毎日 3000 人以上の子どもたちが命を落としているとも言われています。ロータリーは、毎年 250 万人の命を救うため、きれいな水の提供と衛生環境の改善に力を注いでいます。私たちも、ロータリーショーケースやアイデア応援サイトを参考にしながら、財団補助金を活用して、地域や世界に貢献できる人道的奉仕に取り組んでまいりましょう。3月13日は、世界最初のローターアクトクラブが認証された記念日です。この日を含む1週間は「世界ローターアクト週間」と定められ、世界中でローターアクトとロータリークラブの連携行事が行われています。若い世代のエネルギーと創造性は、ロータリーに新たな息吹をもたらします。同時に、ロータリアンの経験や知恵も、ローターアクターにとってかけがえのない学びとなります。ロータリークラブの皆さまには、若い世代との交流を深め、ともに地域社会をより良くするためのプロジェクトに挑戦していただきたく、お願い申し上げます

## 佐々木会員増強委員長卓話

佐々木会員増強委員長卓話

皆さん、こんにちは。会員増強委員会でございます。本日は、私から深川ロータリークラブの現状について感じていることをお話しし、その後テーブルごとに意見交換をしていただく形で進めたいと思います。

まず、会員増強に関する現状についてです。ロータリークラブに通れない重要課題です。

しかし、深川ロータリークラブが本当にその課題に向き合っているのか、私は疑問を抱いています。今回の会員増強委員会は、私と副委員長竹田委員、小野先生の体制で進めています。本来会員増強は委員会だけでなくクラブ全体で取り組むべきものです。ところが、これまで深川クラブでは増強委員会として十分に機能してこなかったのではないかと感じています。

現状として、小野先生の退会、そして村中さんのご逝去という残念な出来事が続きました。一方で、まだ確定ではありませんが、新たに入会を検討してくださっている方もおり、来年度は結果的に1名減となる見込みです。会員数の増減はクラブの活力に直結します。だからこそ、今こそ組織的に継続的な取り組みが必要だと強く感じています。他クラブでは会員増強委員会が例

見ばかりが繰り返され前に進まないため、プロジェクト制に切り替えて活動しているとのことでした。これは非常に合理的で、実効性のある方法だと感じました。深川クラブでも、状況委員会をプロジェクトチームとして再構築し、より柔軟で動きやすい体制にすることが必要ではないかと考えています。

また、先日読んだ会報の次年度、大西翔太ガバナール補佐予定者の原稿に、ロータリーの本質を捉えた古野重幸ガバナールエレクトの言葉がありました。「ロータリーは私たちに様々な機会や体験を与えてくれます」という一文に象徴されるように、ロータリーの魅力は実に多様です。例会で生涯の友を得る人、社会奉仕活動で地域貢献の喜びを感じる人、財団への寄付を通じて世界平和に寄与する意義を見いだす人、若い世代との交流に価値を感じる人など、ロータリーはそれぞれのメンバーに異なる価値を提供しています。

そして「楽しくなければロータリーではない」という言葉があり、まず各メンバーがロータリーに参画する喜びや価値、目的を見いだすことが前提です。例会運営においても、出席するデメリットよりメリットが大きいと感じられる場をつくること

会を継続的に行う必要があります。来年度、私は例会運営委員長を拝命しました。楽しく意義ある例会を實現し、それが退会防止にもつながると考えています。

かつては警察署長や自衛隊の方など、外部講師を招いた例会もあり、普段聞けない話を聞ける貴重な機会となっていました。来年度はそのような例会も少しずつ復活させたいと考えていますので、講師として話を聞いてみたい方がいれば、資料にご記入ください。

また、親睦活動についても、皆さんのアイデアをぜひ伺いたいと思います。「こんな例会があったら楽しい」「こんな活動をしてみたい」といった意見を自由に出していただきたいと思います。例会の質が高まり、参加すること自体が楽しみになるようなクラブづくりを目指していきたいと考えています。

最後に、私は増強委員会がプロジェクトチームとして動くことが望ましいと考えています。そして何より、例会に参加して「楽しい」と感じられる場を増やすことが、クラブの活性化と会員維持につながると思っています。本日の話し合いを通じて、皆さんの率直なご意見を伺い、今後のクラブ運営に生かしていきたいと思っております。



深川 RC

例会運営委員会

会長 伊東 由紀夫 会長エレクト 木村 喜芳 副会長 寺島 康宏  
幹事 宮澤 孝 副幹事 清水 秀晃 会計 廣上 晃士

委員長 長谷川幸央  
副委員長 飛弾野貴広

深川 RC

■例会場 ラ・カンパーニュホテル深川  
■事務局 〒074-0004 深川市4条9番40号  
プラザ深川3 F TEL (0164) 34-6228  
■ URL <http://mypage.fukanavi.com/rotary/>

■例会日 毎週火曜日  
■姉妹クラブ 南海RC (韓国)  
■第2510地区第1グループ  
■ Mail [fukagawa-RC@club502.jp](mailto:fukagawa-RC@club502.jp)